

週間市場レポート (2021年1月25日~1月29日)

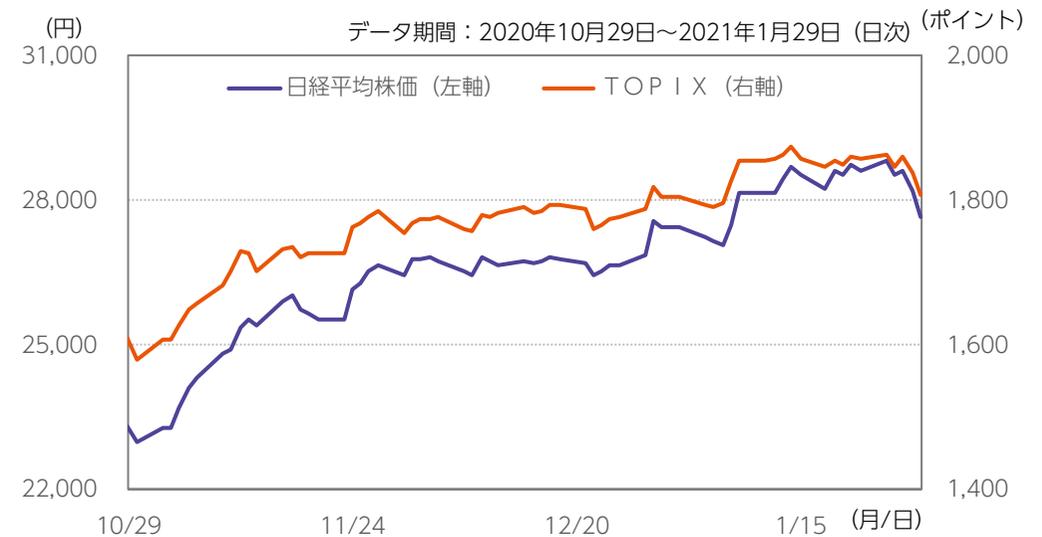
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/1/22	先週末 2021/1/29	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,631.45	27,663.39	▲ 3.38 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,856.64	1,808.78	▲ 2.58 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		30,996.98	29,982.62	▲ 3.27 ↓
S & P500種指数		3,841.47	3,714.24	▲ 3.31 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,602.41	3,481.44	▲ 3.36 ↓
S & P/ASX300指数		6,791.22	6,595.90	▲ 2.88 ↓
上海総合指数		3,606.75	3,483.07	▲ 3.43 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,108.73	1,056.53	▲ 4.71 ↓
東証REIT指数		1,804.37	1,846.41	2.33 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		717.98	712.67	▲ 0.74 ↓
ASX300 REIT 指数		1,403.70	1,381.40	▲ 1.59 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		173.28	172.25	▲ 0.60 ↓
日本10年国債 (%)		0.049	0.054	0.005 ↑
米国10年国債 (%)		1.086	1.066	▲ 0.020 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.512	▲ 0.518	▲ 0.006 ↓
英国10年国債 (%)		0.308	0.327	0.019 ↑
ドル/円		103.78	104.68	0.87 ↑
ユーロ/円		126.33	127.13	0.63 ↑
英ポンド/円		142.01	143.52	1.06 ↑
豪ドル/円		80.05	80.03	▲ 0.03 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,074.40	2,887.08	▲ 6.09 ↓
WTI原油先物 (ドル)		52.27	52.20	▲ 0.13 ↓
CRB指数		172.85	174.20	0.78 ↑
アレリアンMLP指数		880.48	859.76	▲ 2.35 ↓

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

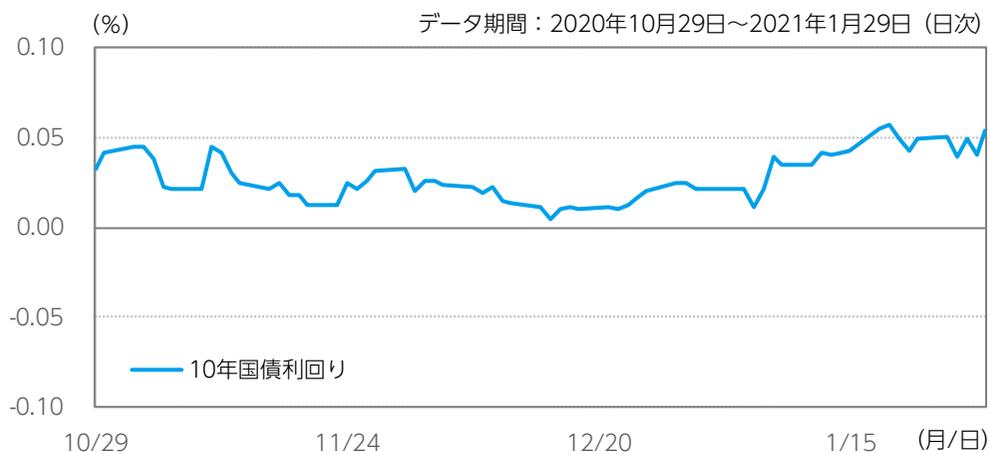
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。週初は、国内企業決算の発表を控え、好決算への期待から半導体関連株や電子部品関連株を中心に買われ上昇しました。その後は、目先の高値警戒感から利益確定売りがやや優勢となり、週末にかけても、米国市場で個人投資家の投機的な売買が過熱していることへの警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、およそ3週間ぶりに終値は28,000円を割り込みました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。
米製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの開発を中止するとの報道で、ワクチンの普及をめぐる先行き不透明感の強まりから、相対的に安全資産とされる債券には買いが優勢となったものの（利回りは低下）、週末は、日銀が10年国債利回りの変動許容幅を拡大するとの思惑から上昇しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

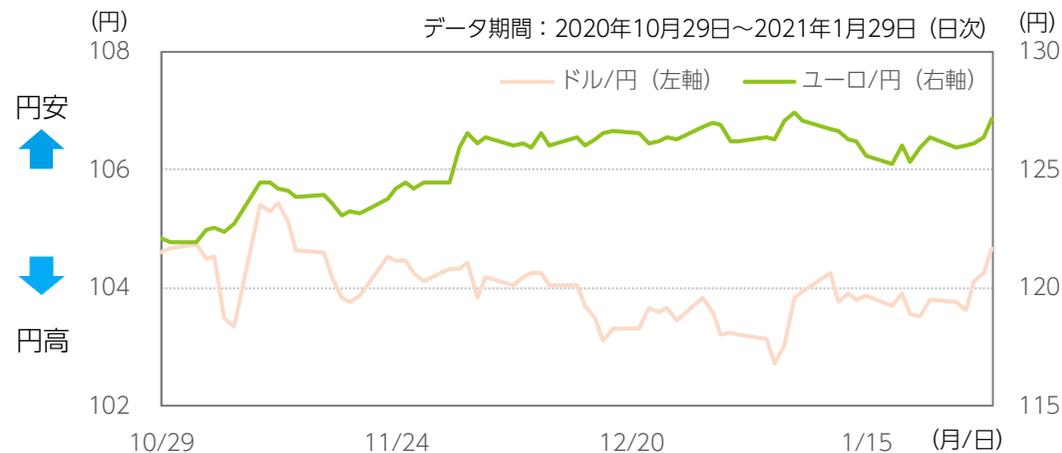
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。
米製薬会社のワクチン開発中止の報道を受け、ワクチン普及への不透明感が強まったことなどから週初より3日連続して下落しました。新規失業保険申請件数の改善を好感し上昇する場面もあったものの、週末は、投機的売買で市場が混乱するとの懸念から下落し、約1ヵ月半ぶりに30,000ドルを割り込みました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
米国の金融緩和長期化への思惑から米ドル安基調が続くとの見方が強まり、週前半は円買い米ドル売りが進みました。週末にかけては月末を控え、国内の輸入企業による円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、週末にかけての株式市場の投機的売買をめぐる混乱が嫌気され、日米両市場ともに大きく下落となりました。

28日（木）に米ネット証券が、これまで急騰していた大手ゲームソフト販売会社や航空会社の銘柄の取引を制限しました。しかし、取引制限をめぐる個人投資家などからの批判を受け、29日（金）には再びこれらの銘柄の取引制限を緩和したことから、個人投資家やヘッジファンドによる投機的な動きが再燃するとの懸念が強まっています。

今週の株式市場は、前週に引き続き日米の主要企業の決算が発表されるため、決算結果に注目が集まるものの、投機的取引に対する規制をめぐる市場混乱から、不安定な値動きになると予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>